

在宅医療・介護連携支援センターの主な機能

◆地域医療・介護サービス資源の把握提供

地域の医療機関、介護事業所等の機能等を調査し、これまでに把握されている情報とあわせて、マップ又はリストを作成する。

◆在宅医療・介護連携の課題と抽出と対応策の検討

地域の医療機関・ケアマネジャー等介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状と課題の抽出、解決策等を協議する。

◆切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療及び在宅介護が夜間・休日、容態急変時の対応等、切れ目なく提供される体制の構築を行う。

◆医療・介護関係者の情報共有の支援

患者・利用者の状態変化等に応じて、医療・介護関係者間で速やかな情報共有を行う。

◆在宅医療・介護関係者に関する相談支援

医療・介護関係者や地域包括支援センターから在宅医療・介護連携に関する相談を受け、連携調整、情報提供等により、その対応を支援する。

◆地域・介護関係者の研修

医療・介護関係者の連携を実現するための多職種でのグループワーク等による研修、その他、必要に応じた研修を行う。

◆地域住民への普及啓発

地域住民の在宅医療・介護を理解し、必要時に適切なサービスを選択できるようにするとともに、終末期ケアの在り方や在宅での看取り等について理解を促進する。

在宅医療・介護連携支援センターのスタッフ

